

月刊

グラフィックサービス

No.880 2025 3



広瀬印刷株式会社
専務取締役
瀬尾 洋さん

広瀬印刷株式会社
工場長
古賀 英樹さん

広瀬印刷株式会社
営業企画課 課長
伊原 宏明さん

広瀬印刷株式会社
プレス課 課長
木村 宏暢さん

■ 巻頭企画

ジャグラ作品展受賞企業に聞く

宣伝印刷物部門 経済産業大臣賞 株式会社広瀬印刷



小森 LS-526 (検査装置 8Kカメラ搭載 DELTA SENSER)

■ 巻頭言

適正な利益を上げ、法人税を納めることの意義

——災害復興の財源は税にあり——

——理事・(株)イデアル 佐藤 元

■ 特別企画 業態進化委員会レポート

印刷会社事例に学ぶ MA 活用と印刷業の未来

■ 連載 SPACE-21 広報部

SPACE-21全国交流キャラバン in KAGOSHIMA

■ 寄稿 ジャグラ文化典東京大会実行委員会 実行委員の休憩時間

CONTENTS

■ 巻頭言

- 1 適正な利益を上げ、法人税を納めることの意義
——災害復興の財源は税にあり——
理事・(株)イデアル 佐藤 元

■ 巻頭企画

- 2 ジャグラ作品展大臣賞受賞社に聞く
宣伝印刷物部門 経済産業大臣賞 株式会社広瀬印刷

■ 特別企画 業態進化委員会レポート

- 23 印刷会社事例に学ぶMA活用と印刷業の未来

■ 連載 SPACE-21 広報部

- 18 SPACE-21全国交流キャラバンin KAGOSHIMA

■ 寄稿 ジャグラ文化典東京大会実行委員会

- 6 実行委員の休憩時間

■ NEWSとお知らせ

- 4 優良従業員表彰の申請受付
5 広報関連 2 業務・委託業者募集
16 第60年度・第6回理事会 議事録
21 ジャグラ作品展募集

■ NEWSとお知らせ

- 5 印刷料金2025年版を発売
8 ジャグラBBホットニュース
13 価格交渉と価格転嫁への積極的対応を
20 業界の動き
ジャグラ 秋田 新年会開催
愛知・愛青会 光文堂新春機材展に出展
日印産連 GP認定がグリーン購入法の基準値要件に明記
13 雑学コラム⑦
29 事務局日誌と今後の予定

- 9 富士フィルムグラフィックソリューションズ(株)
10 ホリゾン・ジャパン(株)
11 (株)小森コーポレーション
12 JaGra グループ保険
12 (株)研美社
14 (株)ショーワ
15 東京リスマチック(株)
表4 リョービMHI グラフィックテクノロジー(株)

月刊グラフィックサービス 発行趣意

月刊『グラフィックサービス』は、一般社団法人日本グラフィックサービス工業会会員、関係諸団体およびすべてのステークホルダーの皆様へ、自社の質的向上に役立ち、知恵と勇気を分かち合うことを目指し発行するものです。

本会の存在意義である人間交流スペースを構築し、社会の多様な要請にタイムリーに対応しつつ、共通の経営課題を持つ会員をネットワーク化し、その交流を積極的に支援するとともに小さいことでも有利となる経営施策も発信する情報ターミナルとなることを理想とします。

またその情報発信手段は誌面にとどまらず、環境に応じて多様な発信方法を検討、遂行することを責務とします。

【概要】

発行回数	月1回/年間12回	配布方法	・全会員へ直接郵送
購読料	ジャグラ会員は無償(会費に含む) ・希望企業、団体への有償配布		・ジャグラホームページからのダウンロード

本誌へのご意見・ご要望・記事提供は下記宛お寄せください

Eメール edit@jagra.or.jp 電話 03-3667-2271 ファクス 03-3661-9006

お手紙 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16 〒103-0001 (一社)日本グラフィックサービス工業会 宛

適正な利益を上げ、法人税を納めることの意義 ——災害復興の財源は税にあり——

理事・(株)イデアル 佐藤 元



私たちは、豊かで安定した社会を築くために、さまざまな責務を担っています。個人においては、参政権をはじめとする基本的人権が保証される一方で、教育・勤労・納税といった義務を果たすことが求められます。同様に、企業もまた、社会の公器としての役割を果たすべき存在です。従業員の生活を守り、顧客に価値を提供し、そして適正な納税を行うこと——これこそが、社会への最大の貢献であると私は考えます。

近年、多発する災害の復興には膨大な財源が必要です。阪神・淡路大震災、東日本大震災、そして近年の自然災害を振り返ると、復興支援の基盤となるのは、企業や個人が収める税金に他なりません。私たち経営者ができる最も直接的な貢献は、事業を通じて利益を生み出し、適正な法人税を納めることです。

適正な法人税を納めるためには、言うまでもなく利益を確保しなければなりません。そこで、改めて利益の構造について考えてみます。

$$\text{利益の基本公式} \\ \text{売上} - \text{経費} = \text{利益}$$

このシンプルな公式のもと、経営の要点を整理すると、次の二つに集約されます。

1. 売上を最大化する
売上は100%お客様からの評価に基づくものです。つまり、顧客価値を最大化することが企業の最優先事項となります。経営者も社員も、お客様の喜びを創出することを常に念頭に置き、日々の業務に取り組むことが求められます。

2. 経費を最適化する
経費は企業が自らコントロールできる唯一の要素です。無駄を省き、業務の効率化を図ることで、企業の生産性向上につながります。「昨日より今日、今日より明日」を意識し、継続的な改善を実践することが重要です。

こうして生み出された利益は、社員の昇給や賞与、設備投資を通じた企業の成長、さらには社会の発展を支える納税の原資となります。社員が安定した生活を送り、将来に希望を持てる環境を提供することこそが、経営者の責務であると考えます。

また、経営者自身も学び続けることが大切です。適切な報酬を得て自己研鑽の時間を確保し、健康を維持しながら企業の未来を見据えることが、持続的な成長の鍵となるでしょう。

私自身、野菜を中心に三食きちんと食べることや運動を習慣にし、コンディションを整えるよう心がけています。そうすることで、仕事の質が向上し、社員やお客様のことをより深く考えられるようになったと実感しています。

私にとってジャグラは、かけがえのない共同体であり、

学びの場です。そこには、経験豊富な先輩方や、志を共にする後輩が集い、業界の未来について語り合う機会があります。

知りたいことがあれば先輩を訪ね、先進的な考え方や仕事の進め方、設備の取り扱い方、工場運営まで、さまざまなことを学ばせていただきました。加えて、味わったことのない料理やお酒を楽しみ、その後のひとときも含めて、社会勉強の場として多くの経験をさせていただきました。振り返れば、こうした経験こそが、私の経営観を形作る大きな要素になっています。

私のデスクの横には、2018年9月号の巻頭言が、今もマグネットで固定されています。当時、副会長に就任された岡本会長が「コンテンツ産業への転換をいち早く進めよう！」と力強いメッセージを発信されていました。

「今や印刷は自社で判断する表現技術ではなく、顧客の事業活動における一つの手段として考えなければなりません。」「継続させるためには、印刷以外の仕事でも、リピート可能な仕組みを作らなければなりません。」「いち早くコンテンツ産業への転換が必要ではないかと考えます。」「業界に先立って、印刷業のノウハウを最大限活用し、業態変革して楽しく確固たる地位を産業界の中で作る事が『強いジャグラ』だと思います。」

この言葉は、今もなお、私の経営指針の一つとなっています。そして、この巻頭言を書かれた岡本会長は当時50歳。奇しくも私も現在50歳。まだまだ伸びしろがあることを実感しながら、これからも挑戦を続けていきたいと思っています。

2025年、日本国際博覧会(大阪・関西万博)が大阪・夢洲で開催されます。続く2026年には、ジャグラ大会が大阪で開かれます。地球温暖化により気温上昇が進む中、大阪の熱気は、まさに沸点に達しようとしています。

この機会を活かし、私たちも業界の未来に向けた新たな一歩を踏み出すべき時ではないでしょうか。印刷業の枠を超え、コンテンツ産業へと進化することが求められています。ともに学び、成長し、業界の新たな可能性を切り拓いていきましょう。

仕事の繁忙期に、突如として舞い込んだ超短納期原稿執筆依頼。限られた時間の中で書き上げたため、至らぬ点もあるかもしれませんが、何卒ご容赦ください。

しかしながら、この機会を通じて、自らの考えを整理し、皆様と共有できることを嬉しく思います。ともに業界の未来を創り上げていきましょう。





ジャグラー作品展 大臣賞受賞社に聞く

令和5年度ジャグラー作品展宣伝印刷物部門で最高賞の経済産業大臣賞を受賞された株式会社広瀬印刷にご寄稿いただき、受賞の喜び、作品に対する思い、完成に至るまでの裏話などを語っていただきます。

三段峡野帖

宣伝印刷物部門 経済産業大臣賞

株式会社広瀬印刷 代表取締役 瀬尾 淳

まずは経済産業大臣賞のお話をする前に、全国大会広島大会では多くのジャグリストの皆様にお越しいただき、また多大なるご協力をいただきましたこと、厚く御礼申し上げます。また筆不精で投稿が遅くなりましたことをお詫び申し上げます。

ジャグラー作品展に応募した動機についてはひとえに、広島大会の成功のため作品点数を増やさねばならないと思い、前年に企画製造したものを片っ端から出ただけでした。また三段峡野帖にいたっては、出したものの中にさえ入っておらず、私が三段峡で活動をしていることを知る山本地協会長から「あれ絶対だしたほうが良いのに」と三段峡野帖の出品を助言いただいたことが、応募動機でもあったため今でも驚いております。過分な賞をいただいたと感

じて止みません。

さて、この三段峡野帖が生まれた背景として、先にも触れた広島県北の特別名勝である三段峡保全を中心とした活動が大きく関わっております。ジャグラー広島大会でも三段峡観光をコースのひとつとして設定いたしました。ここは広島市を中心とする太田川流域の源流であり日本の山里文化を重厚に織りなした風光明媚あふれる場所で、紅葉の時期には多くの方が訪れます。しかしこのような素晴らしい景色は自然の力だけでなく、日本独自の生活文化によって形成されていることは、あまり知られておりません。とりわけ日本の山里の文化は人の手によって管理され続けることで生態系が維持され形成されているところにあります。たたら製鉄、林業など歴史の中でも山里は栄枯を繰り返してきましたが、その時代に応じた人の手による管理が行き届いておりました。いまの広島市をはじめとする下流都市部は、山里の歴史が生んだ水によって発展してきたといっても過言ではありません。しかし近年は、国立公園では伐採そのものが規制される、予算が割り当てられないといった理由で人の介入そのものを禁止するなど、一歩間違えると地域全体の生態系を脅かす、日本独自の文化が継承されなくなるといった状況が続いております。

このような状況を打開すべく、我々は現在の理事長である本宮炎さんをはじめ有志でNPO三段峡-太田川流域研究会を立ち上げ、口伝や書物を調べ、過去の歴史を紐解き、現在の状況を新聞の発行という手段を使い継続的に記録することで、山里管理の有るべき姿、現代の都市と山里の関



係を模索しながら、三段峡憲章「自然の価値の本質・歴史と文化の流れ・人と人の繋がり」を地域行政に提言し次世代に遺す活動を続けております。

前置きが大変長くなってしまいましたが、そろそろ少しずつ印刷の話をしようと思います。私が三段峡に足を運ぶことで得た収穫は、「名前」がどのように歴史に遺っていくのかということでした。昔は多くの口伝があったようですが、大正15年の三段峡開峡を知る人はほとんどいなくなり、いつの間にか名称は失われました。しかし口伝が当時大きな労力によって書物に記されるまでになった「名前」は歴史に残り、そこに訪れる人々が様々な想像を掻き立てるにふさわしいものとなりました。竜ノ口、赤滝、女夫淵、石樋……どれも聞いただけではピンとこないかもしれませんが、その場でその名前を口にしたときのインパクトは相当なものです。これまで、ほとんど感じることもなかった「編集された結果である」書物の力を思い知った瞬間でした。

現代にはSNS・写真データなど多くの記録の方法が存在しますが、労力を伴っていないことも多く、単なるメモ・口伝となら変わらないと感じています。また広告収入を目的とした編集も歴史に遺るかと言われるれば労力のベクトルが違う方向にあり、疑問符がついてしまいます。次世代に山里管理の有るべき姿を遺すために、どのような記録補助ツールが良いだろうかとNPO三段峡-太田川流域研究会で議論を交わした結果、三段峡野帖という着想を得ました。何にもない白紙の地図に、わざわざ秘境にペンと野帖をもっていき書き記す、そこに書かれた文字は生きた文字

として歴史に刻まれる候補になることで、いずれは書物に遺り、その織り重なりが新たな日本文化を形成していく礎になるのではないかと期待しての企画でした。

このようなストーリーから生まれた野帖について試行錯誤はありましたが、仕様はサクサクと決まっていきました。強度と地図の連続性は何よりも重要な要素となりました。書き味について適度にペンに引っ掛かり、ハترون判までラインナップにあるということで封筒や手提袋に使われる晒クラフトを採用しました。黒と銀箔押も重要でした。山の緑、川の青さの中でひととき目立つ色は白黒であり多様化した自然と真逆のシンプルなデザインです。国立公園の中で使うものであったため、置き忘れることのないよう、違和感を持たせました。

プロトタイプは当初箔押でなく印刷でした。目立つデザインは自然の中で違和感こそあったものの、箔押に比べ溶け込んでしまうイメージがありました。表紙の強度についても板紙をつかうなど下敷きの役割が重要かもと当初は考えましたが、色上質の黒にマットPPという形に落ち着きました。折り重ねることによって下敷きになることに加え、開きやすさを重視した結果です。このような表紙の試作には数年前に導入したフラットベッドインクジェット機とレーザー加工機が活躍してくれました。白地図は町史に掲載されていた図面を参考に引き直しました。この図面の引き直しは設計経験のあるNPO三段峡-太田川流域研究会の波田監事に多大なるご協力をいただきました。図面の連続性には一番苦労しました。まず引き直した図面は場所によって縮尺が異なり、書いている雰囲気や記号を統一する必要がありました。三段峡を知る社内メンバーで1枚1枚チェックしたことが印象に残っています。また印刷では仕上以外の箇所に合いマークを打ち、両面テープ加工後に断裁するといった手法で地図の連続性が失われないような工夫をしました。

三段峡野帖プロトタイプ



賞をいただき、このようにして生まれた三段峡野帖を振り返ると意外と想いを込めて作っていたのだと大変感慨深い気持ちになりました。また三段峡野帖の中に、我々が携わっている印刷の可能性も多く詰まっているとも感じております。労力を使って文章を編集、組版、印刷するといった行為はコストパフォーマンスの観点からは採用の可能性が低いものであることは周知の事実です。しかし、歴史に遺す、文化を形成していく土台としての印刷物ということであれば、まだまだ多くの需要……もしかしたら唯一の手法として注目を浴びていくかもしれません。私はジャグリストとしてはまだ日が浅いですが、ジャグラ文化典を通して編集・組版の重要性に気づかせていただいた関係者の皆

さまに改めて感謝申し上げます。
今後も印刷文化を通した挑戦をしていきたいと思います。引き続きのご指導ご鞭撻の程を宜しくお願い致します。



フラットベッドインクジェット機とレーザー加工機

広報関連2業務・委託業者募集のご案内 5.9 締切

ジャグラ広報委員会(本村豪経委員長)では、下記のとおり広報関連2事業の委託業者を募集します。入札に際しては価格だけでなく内容を重視します。下記仕様をご確認のうえ、ご提案書・見積書を5月9日(金)までに郵送(必着)または本部署事務局までご持参ください。お問い合わせ・送付先はジャグラ事務局・田中まで(Tel03-3667-2271 / tanaka@jagra.or.jp)

機関誌『グラフィックサービス』の印刷・製本 委託業者募集

- 委託期間
本年7月号より1年間(2025年7月号~2026年6月号)
- 本誌仕様
①判型:A4判 ②頁数:32頁以上(表紙込み)
③色数:表紙4C、本文前後4C、中面1C(本誌参照ください)
注)②③は最低限仕様です。全ページ4Cなどの提案も承ります。
④校正:表紙・本文ともPDFによるネット校正可能
⑤入稿:Adobe CC生データで入稿
⑥印刷:印刷業者等で構成する一般社団法人が発行する機関誌としてふさわしい品質であること
⑦部数:1200部
⑧納品:ジャグラ事務局・発送会社
⑨納期:校了後7営業日以内に発送すること(厳守)
⑩備考:印刷・製本に関しては、その種類(オフセット/オンデマンド、無線綴じ/中綴じ)問いません。

●求められる環境
ネット入稿となりますので、自社サーバ必須です。(レンタルサーバ可。Gigafile 便等の汎用サービスの利用は不可)

- 見積書・提案書(様式不問)について
①印刷・製本の見積書としてお願いします。
②印刷・製本以外=取材、制作(編集)、発送などのご提案については別見積もりとしてください。
③本誌バックナンバー、ジャグラ総会資料などもご参考の上、ご応募ください。

機関誌『グラフィックサービス』の編集・レイアウトデザイン制作 委託業者募集

- 委託期間
本年7月号より1年間(2025年7月号~2026年6月号)
- 本誌仕様および制作スケジュール
①~⑧までは「印刷・製本」と同じ
⑨平均制作スケジュール:
・発行月の前月第一週から中旬(12日前後)頃まで事務局より原稿を入稿。
・規定の文字詰めルール等に合わせ誌面をレイアウトデザイン。誌面制作(初校)
・初校確認、修正同時進行。
・再校確認、修正。
・全頁最終確認後に納品(24日頃)
- ⑩校正回数:3回(初校、再校、最終)
- ⑪支給データ:文字原稿(Word、Excel)、画像データ完全支給(画像修正依頼若干あり)

●求められる制作環境
Adobe InDesgin 生データでの入稿となります。毎回、誤植などの修正作業が発生するため、Adobe CC 最新バージョンおよびモリサワ書体の所有は必須(奥付参照)です。

- 見積書・提案書(様式不問)について
①レイアウトデザイン、印刷データの制作見積書としてお願いします。
②その他のご提案については別見積もりとしてください。
③本誌バックナンバー、ジャグラ総会資料などもご参考の上、ご応募ください。
④印刷・製本の委託と両方合わせての応募も受け付けます。

優良従業員表彰の申請を受付中です

ジャグラ文化典において実施する優良従業員表彰の申請を受付中です。申請には所属支部長の承認が必要ですので、下記をご覧のうえお手続きください。(申請書は本部より支部長に配布済です)

表彰基準

- ①その従業員が優秀で、他の従業員の模範になる場合
- ②その従業員が優秀な実績を残した場合
- ③その他、その従業員を表彰するにふさわしい場合
その従業員が上記のいずれかに当てはまると代表者が判断した場合に申請できます。
※従業員とは「労働組合法第3条」による労働者(賃金その他これに準ずる収入で生活するもの)であって法人の場合は社員から役員になった者であっても、出資金がその法人の資本総額の十分の一以下であれば従業員とします。当該事業所に従事している事業主の配偶者は除外します。

経費の負担

- ①優良従業員に授与する表彰状・記念品はジャグラが用意しますが、経費は事業主の負担となります。費用は概ね1万円見当です。後日、請求書を送付しますので、振り込みをお願いします。
- ②優良従業員が表彰式に出席するための一切の経費は、表彰の趣旨を生かすため、事業主の負担となります。

支部長の承認および本部への提出

- ①申請書は支部長が受け取り、支部役員でこれを検討、適正の場合のみ、該当欄に記名押印し、一括して本部へ提出してください。
- ②本部締め切りは4月18日必着です。(5月9日の理事会に間に合わせるため)

表彰決定の通知

- ①各支部長より提出のあった申請書は、本部理事会の承認を得たうえで、ジャグラより各事業所に書面で通知します。

表彰式

- ①ジャグラ文化典東京大会式典(6月21日、浅草ビューホテル)で優良従業員へ表彰状および記念品を授与します。
- ②優良従業員の懇親会への招待はありません。懇親会出席を希望される場合は、全額事業主負担となりますので実行委員会宛に別途お申し込みください。
※表彰式欠席者へは、後日、賞状および記念品を送付いたします。(会社の住所宛)

◆お問い合わせ◆ 詳細は右記事務局へお問い合わせください。 ジャグラ事務局・阿部 電話 03-3667-2271

新刊 経済調査会 印刷料金 2025年版を発刊

Web制作費の見積り調査結果も

一般財団法人経済調査会はこのほど、「積算資料 印刷料金 2025年版」を発刊しました。同書は各種印刷物の見積もり・積算のために、工程に沿った料金と算出方法を掲載している。仕様書作成に必要な情報も充実している。

Web制作費の見積りは、2022年度に実施したWeb制作技術者に関する実態調査で、業務上の役割と担当する作業内容の関係を調査し、Web制作技術者の人材像を明らかにした。同調査で一定の成果が得られたことから、2024年度は原点に立ち返り、あらためて、Web制作費の見積り手法に関する調査を実施。本書ではその調査結果を紹介するとともに、Web制作費の見積り手法を標準化するための課題を考察している。

2025年版の特集は「drupa2024に見る印刷トレンド」「Web制作費の見積りに関する調査結果について」「クリエイティブワークの見積り事例調査結果」の3本立てです。購入は、ホームページ(Bookけんせつ Plaza、<https://book.zai-keicho.or.jp/index.php>)から。



商品名/積算資料 印刷料金 2025年版
仕様/本文392頁、B5判
価格/4,070円(税込)
編集・発行/一般財団法人経済調査会



2025年3月



HOT NEWS

おすすめ番組情報

広報委員会
が選ぶ!

いまずぐチェック!

ジャグラ BB |



カテゴリー > 教育と技術 > DTP

DTP出力の基礎 (第1部・第2部)

印刷会社のプリプレス部門の出力担当者やお客様の対応をする印刷営業の方々に向けてアプリケーションソフトで制作した印刷用のレイアウトデータがオフセット印刷やデジタル印刷機用の出力データになるまでの流れや、それに付随する基礎技術について解説する講座です。



当時のPostScript出力の流れ

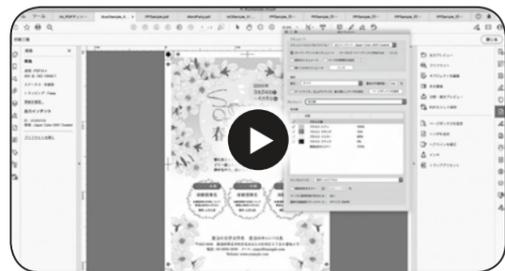


基本のキにゃ!



study 入稿データのチェック方法を学ぼう

カテゴリー > 教育と技術 > DTP



入稿データのチェックポイント ～ Adobe PDF 編～

印刷会社に入稿されたデータを、ソフトウェアでチェックする際のポイントと使用する機能について解説する講座です。ぜひご活用ください。



BTube への 映像データ募集中!

スマートフォンで
簡単投稿♪

投稿方法は
こちらから→



FUJIFILM

Value from Innovation

デジタルプレスの活用で、 ワクワクする未来へ。

JP2025 印刷DX展

インテックス大阪3号館
2025 3/13 Thu- 3/14 Fri
13日/10:00～17:00
14日/9:30～16:00

デジタル印刷は、生産環境に効率性・柔軟性をもたらすだけでなく、これまでにない価値を生み出し、印刷ビジネスを一段と魅力的なものにする可能性を秘めています。今回のJP展では、そんなデジタル印刷のポテンシャルを最大限に引き出すためのソリューションをご紹介します。最新のプロダクションプリンターの実機展示や、多彩な印刷サンプルもご用意しておりますので、実践的なヒントが満載の富士フィルムブースに、ぜひお越しください。皆さまのご来場、心よりお待ちしております。

Revoria Press™
プロダクションプリンター
Revoria Press EC2100S



FFGSセミナーのご案内

日時：3月13日(木) 13:00～14:00

場所：インテックス大阪3号館展示会場内
セミナーエリア

定員：30名

■テーマ
高性能をコンパクトに! Revoria Press EC2100Sの魅力徹底解説

■セミナー概要
最新のプロダクションプリンター「Revoria Press EC2100S」をご紹介します。コンパクトな筐体に5色印刷機能を搭載し、印刷品質の向上と各種調整作業の自動化を実現。高い基本性能を誇るRevoria Press EC2100Sの魅力、わかりやすくお伝えします。ぜひご参加いただき、次世代の印刷技術の可能性を感じていただければ幸いです。

講師：富士フィルムビジネスイノベーション株式会社
グラフィックコミュニケーション事業本部
バリューイノベーショングループ 鎌形 明



お申込みはこちら▲
※定員になり次第
締め切らせていただきます。

富士フィルムグラフィックソリューションズ株式会社

富士フィルム ビジネス イノベーションジャパン株式会社

Horizon

Change the focus

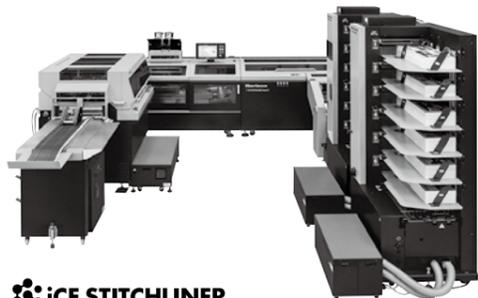
Connected をキーワードに製本工程の自動化を実現します。

iCE Series は、お客様へさらなる高付加価値を提供することを目指した次世代型商品群です。ユーザーフレンドリーなインターフェースで作業性を向上させ、安定した生産性と自動化を高次元で追求しています。さらに、ワークフローシステム「iCE LiNK」との連携により、先進的な作業環境を構築できます。

ペラ丁合鞍掛け中綴じ製本システム iCE STITCHLINER Mark IV

自動化と製本品質の向上を追求

多品種少量生産に対応するために、全自動化することでセット替えの時間を極限まで短縮しました。筋入れ機構や突き揃え機構、折り部、針金の長さ調整、断裁前の位置調整など、各工程における高精度な調整と加工技術で高品質な製本を実現します。



iCE STITCHLINER

無線綴じ機 iCE BINDER BQ-300

使いやすく進化した無線綴じ製本機

新世代 15 インチパネル HorizonXUI(ホリゾンクロスユーアイ)初搭載。製本のノウハウと自動化技術を融合し、オペレーターの経験や能力に頼ることなく簡単に製本作業を行うことができます。



iCE BINDER

紙折機

iCE FOLDER AFV-566FKT / AFV-564FKT

生産性と折り品質が向上

ナイフ折り時の最適な給紙間隔をリアルタイムに計測演算し、最高の処理速度を引き出すなど、ナイフストッパーの脱着作業を含めた様々な設定を自動化し、幅広いアプリケーションに迅速に対応します。



iCE FOLDER

三方断裁機

iCE TRIMMER HT-300

高生産性と自動化を追求

一枚の断裁刃で天地、小口の三辺を断裁します。断裁前と断裁後の寸法をタッチパネルに入力することで設定が完了し、最高 300 サイクル / 時で高生産性を実現します。冊子厚さの自動測定や、断裁角度の微調整など、自動調整機能により、精度の高い仕上がりを実現します。



iCE TRIMMER

fb.me/Horizon.sns

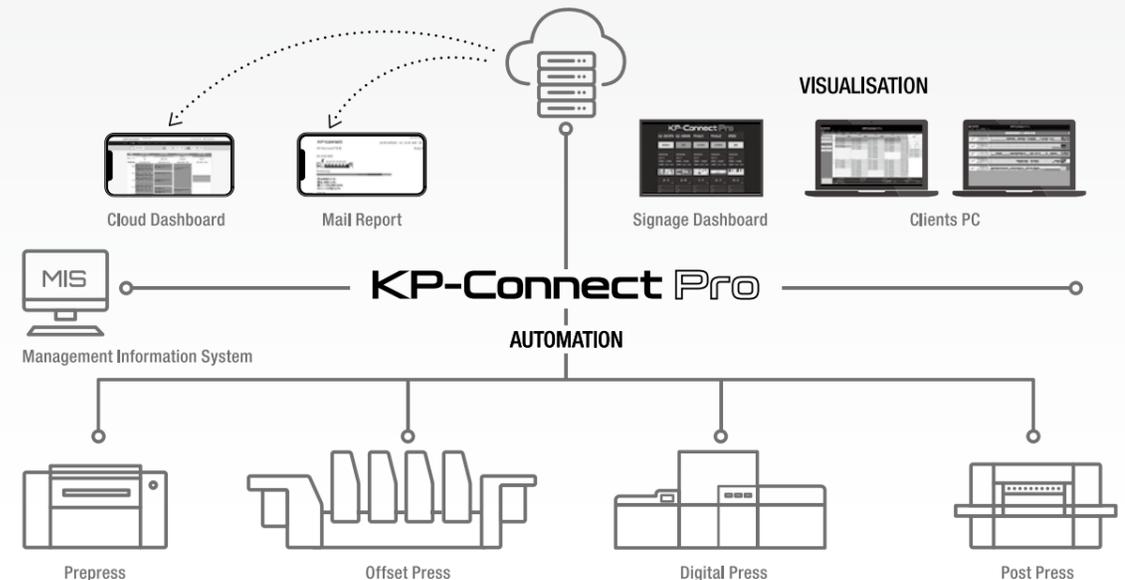
ホリゾン・ジャパン株式会社 www.horizon.co.jp

本社 〒101-0031 東京都千代田区東神田2-4-5 東神田堀商ビル5F TEL.03-3863-5361(代) FAX.03-3863-5360
 東京支社 〒132-8562 東京都江戸川区松江5丁目10-9 TEL.03-3652-7631(代) FAX.03-3652-8083
 京都支社 〒601-8206 京都府京都市南区久世大数町510 TEL.075-933-3060(代) FAX.075-933-4025
 福岡営業所 〒813-0034 福岡県福岡市東区多の津4-12-17 TEL.092-626-8111(代) FAX.092-626-8112
 仙台サービスセンター 〒984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東1-7-31 TEL.022-782-2821(代) FAX.022-782-3068



CONNECTED AUTOMATION

— 印刷DX 新しい世界への扉 —



「データの一元化」「見える化」「整流化」「自動化」



『KP-コネクトプロを軸に省人化・省力化技術を搭載した機械や生産システムをつなぐことで、お客様の生産性を極大化していく』概念です。オープンな環境を提供することで、業界の様々なメーカー・ベンダーと連携、共創していきます。高度な自動化機能を搭載した最新機リスロンGX/Gアドバンスモデルとの併用で、さらなる効果を発揮します。

MADE IN JAPAN WITH STATE-OF-THE-ART TECHNOLOGY

株式会社 小森コーポレーション
 〒130-8666 東京都墨田区吾妻橋 3-11-1 TEL.03-5608-7806
 www.komori.com

コネクテッド・オートメーション
 についての詳細はこちら



https://www.komorisolutions.com/ca/ja/

JaGraグループ保険制度

災害保障特約付・災害割増特約付団体定期保険

◆ 割安な価格で充実の福利厚生

(例：30歳男性、1口327円/月)

◆ 70歳まで加入可能

◆ 死亡以外に事故による入院も保障

◆ 医師の診査不要、告知のみで申込



加入・お問い合わせはジャグラ事務局まで ☎ 03-3667-2271

経済産業省からのお知らせ

価格交渉と価格転嫁への積極的対応を

3月は政府主導の「価格交渉促進月間」となります。サプライチェーン全体の競争力向上と共存共栄の関係構築に向け、発注企業・受注企業双方の適切な対応が求められています。以下ご確認のうえ、適切な取り組みをお願いします。

■価格交渉および価格転嫁の促進

発注企業は、下請中小企業振興法の「振興基準」に則り、受注企業からの価格交渉の申し出に速やかに対応し、価格転嫁を適切に行うことが求められます。一方、受注企業は積極的に価格交渉を申し出るとともに、「下請かけこみ寺」や「価格転嫁サポート窓口」などの相談窓口を活用することが推奨されます。

■労務費に関する「指針」の活用

価格交渉の場では、労務費に関する「指針」を積極的に活用することが重要です。

発注企業：指針に基づき、受注企業と適切に価格交渉を行い、さらにその先の受注企業にも価格転嫁を促す。

受注企業：価格交渉の材料として指針を活用し、適正な価格設定を目指す。

■フォローアップ調査への協力

4月中旬以降、受注企業を対象に、以下の調査が実施されます。

アンケート調査：30万社を対象に、主要発注者との価格交渉や支払条件について調査。

重点的なヒアリング：下請Gメンが2,000社を対象に価格交渉・価格転嫁の実態を調査。

この調査結果は、発注企業ごとの取組状況を公表し、必要に応じて事業所管大臣名での指導・助言を行うための重要な資料となります。対象企業は、正確かつ詳細な回答をお願いします。

■パートナーシップ構築宣言への参加

サプライチェーン全体の価値向上と共存共栄を目指し、政府が推進する「パートナーシップ構築宣言」への参加を検討してください。すでに宣言している企業は、調達担当者への更なる周知を図り、実効性を高めることが求められます。

本取り組みに積極的に参画し、健全な取引環境の構築を進めていってください。



雑学コラム 野口聡の

47都道府県のお話 (その25:長野県)

ジャグラ会報をご覧の皆様、こん〇〇は。ジャグラ東京・東大文京支部のアクティブ・野口です。

お陰様でこの連載で取り上げた都道府県も24か所となり丁度半分になりました。ありがとうございます。

今回は長野県を取り上げようと思います。いつものようにつらつら書いていきますのでよろしければお付き合いください。1：オリンピックと長野県の意外な関係。

スキージャンプの原田雅彦の「フナキ〜！」も懐かしい長野オリンピック、冬季五輪としては日本で2番目の開催だったこのオリンピック、この大会で行われた競技として「カーリング」がありました。ところで、この競技が行われたのは長野県のどこだったか覚えている方はいらっしゃいますか？ 答えは「軽井沢」なのです。意外だったでしょ。

時は1964年、日本中が湧いた前回の東京五輪での話。実はこの時軽井沢を舞台にした競技が行われたのをご存知ですか。その競技は「馬術」です。実は軽井沢は日本のオリンピック史上初めて夏冬両方で会場に選ばれた地域(2020五輪で札幌が2番目)なのです。意外だったでしょ。

2：冠婚葬祭でいつも目にする「アレ」の生産量1位が長野にあるんだって。

長野県の南部に位置する飯田市、鉄道好きなら知っている飯

田線の走る、普段あまり馴染みのない(ごめんなさい)地域がありますが、実はここは我々の生活でよく目にするあるモノの生産量が日本一なのです、何だと思いませんか？ ヒントは冠婚葬祭に欠かせない、ですよ。

答えは「水引」です。要はお高いご祝儀袋やご香典袋についている金銀の紐です。飯田市はこの水引の生産量が日本一なのです。因みに皇室で使われる特別な水引もここ飯田市の会社が唯一生産し納めているんですって。

3：知ってました？ 皆さんも行った事がある(かもしれない)あの名刺は意外にも…。

とりあえず「長野の観光名所は？」と聞かれた方はどここと云うでしょう。いくつか挙げて頂いたら大概の人が答えるのが「善光寺」だと思います。

その善光寺、勿論仏教のお寺なのですがここで問題。例えば芝増上寺だと浄土宗、比叡山延暦寺や上野寛永寺だと天台宗だったりして大概の寺院はどこかしの宗派に属しています。では善光寺は仏教の宗派で云うとどんな宗派に属しているのでしょうか？

実は善光寺は「どこの宗派にも属していない」が正解なのです。それはなぜか。HPによると現在の地に善光寺が開かれたのは7世紀半ばだと言われています。真言宗や天台宗が興り始めるよりもおよそ100年も前の事であり、その頃は仏教そのものが日本の中でも新しい宗教であったので宗派など存在していなかったという事のように。現在では運営管理として天台宗と浄土宗がお手伝いしていますが、善光寺は老若男女問わずだれでも受け入れる場所として今日まで存在しているのです。

さて、今回はここまでにします。お付き合いいただきありがとうございます。では今月の問題です。

問題：日本の自動車のナンバープレートの地名、ご当地ナンバーも含めて漢字4文字表記なのは愛知県の「尾張小牧」と三重県の何？

アプリって割と簡単に作れるのです!



社内報アプリを導入する企業続々!

近年、社内報をアプリで配信する企業増加中! 経営層からのメッセージや最新ニュースなどをリアルタイムで共有。コメント機能やアンケート機能など、デジタルが繋ぐ、広がるキズナ。

情報共有の迅速化

データ分析による効果測定

閲覧率・読了率の向上 & エンゲージメントUP



ちょっと覗いてみてください↓

地域活性化を促進するデジタルスタンプラリー!

手軽に参加! 観光地や商業施設で、地域活性化や集客促進に! スマホがあれば、いつでもどこでも簡単に参加できます。参加者数や達成率などの効果測定もタイムリーにOK!



ちょっと覗いてみてください↓

オリジナルアプリ作成は研美社にお任せを!

導入事例
山梨県庁職員研修会
新商品(業務用)の案内やECサイトの案内
活用中!

TOKYO QUALITY.

すべてのSPコミュニケーションに最良の品質を。



ユーザーサポートこそ商品

株式会社ショーワは、謄写版および付属品の販売と謄写印刷業の「昭和謄写堂」として、昭和3年に幅弓之助が創業しました。

創業者の幅弓之助は「良いものを売り、売ったものには責任を持つ事」に頑固なまでにこだわり続け、そのこだわりは創業から100年に向けて今なおショーワの社員一人一人にDNAとして脈々と受け継がれています。

長きに渡り、多くの取引先企業様より厚い信頼を寄せて頂けるのも、企業理念にもあります様にユーザーサポートという目に見えない、形のない「商品」だからこそ、付加価値を創造し続け、溢れる情報、市場状況を正確に分析・判断しうる知識とユーザーサイドで常に物事を考える「誠意」が評価して頂けているものと考えています。

今後も常に「ユーザーサポートこそ商品」の企業理念、創業者・幅弓之助の熱い志を胸に社員一同業務につとめていく所存です。

21世紀のグラフィックアーツを共に考えるショーワユーザー会

コラボレーション&リサーチ

SHOWA会

ユーザー会で密に情報交換

年間活動

- 研修会 ○工場見学 ○総会・幹事会
- 会報・メールマガジンの発行 ○有志グループ活動

問い合わせ、入会お申込みは事務局まで

SHOWA会事務局 TEL.03-3263-6141 FAX.03-3263-6149



株式会社

プリントメディアの総合商社

<http://www.showa-corp.jp/>

〒101-0065 東京都千代田区西神田2丁目7番8号 TEL 03-3263-6141(代) FAX 03-3263-6149

東京リスマチック株式会社

なんでも相談窓口

プリントデスク ☎0120-269-132

平日(月~金) 9:00~17:00 E-mail: support@lithmatic.co.jp



Lithmatic
<http://www.lithmatic.net>

SHOWA

第 60 年度・第 6 回理事会 議事録

ジャグラは 2025 年 1 月 8 日、東京都中央区のニッケイビルならびに Zoom で、第 6 回理事会を開催しました。以下、理事会議事録抄録を報告します。

第一号議案 役員の派遣・スケジュールに関する件 (承認事項)

〔提案内容〕
役員の派遣・スケジュールを別紙のとおり決定したい。

第二号議案 年間スケジュールに関する件 (承認事項)

〔提案内容〕
年間スケジュールについて、別紙のとおり提案する。

《検討の経緯》

田中専務より、SPACE-21 行事として 4 月 19 日 (土) 総会、10 月 25 日 (土) 全国協議会が予定されていることと、7 月 11 日の理事会は場所が未定だが東京で開催される旨、補足説明があった。また、尾形文貞副会長より、10 月 11 日・12 日に関東地協総会が予定されている旨、報告があった。その他、議場に質問・意見を諮ったところ、他に発言はなく満場一致で承認した。

第三号議案 事業と役割分担に関する件 (承認事項)

〔提案内容〕
事業と役割分担について別紙のとおり提案する。

《検討の経緯》

下記委員の追加訂正指摘があった。その他、議場に質問・意見を諮ったところ、発言はなく満場一致で承認した。
●70 周年誌編集委員会 委員に金澤克明氏 (印刷出版研究所) を追加

第四号議案 ジャグラ 70 周年記念表彰候補者に関する件 (承認事項)

〔提案内容〕
ジャグラ 70 周年記念表彰候補者について、別紙に記載した選考基準のもと推薦者を選定した。

《検討の経緯》

議場に質問・意見を諮ったところ、候補者選出基準案については質問・意見がなかった。候補者については、下記質疑応答があった。その他発言はなく満場一致で承認した。
●岡本泰会長：業界功労賞、印刷功労賞などの賞と今回の賞は同じものか。候補者人数が多すぎるということはないか。
●田中専務：業界功労賞はジャグラが授与し、印刷功労賞は日印産連が授与するものだが、今回の 70 周年記念表彰は「経済産業大臣賞」である。10 年前の 60 周年表彰者も 3 名だったため、特に人数が多すぎるということはない。
●松下忠理事：候補者選出はどのような方法で行われ、誰が選

出したか。

●阿部事務局長：候補者選出にあたっては事務局管理の役員歴データを使用し、選出基準の 1 から 3 に該当する人物を抽出した結果、候補者が該当したため、すべての該当者を候補者として選出した。

第五号議案 新入会員承認に関する件 (承認事項)

〔提案内容〕
8 月 1 日から 10 月 31 日までの下記新入会員について、承認いただきたい。

入会日	支部	会社名	従業員数
8 / 2	文京	(株)リープ	3
9 / 5	福島	(株)昭和紙工	15
10 / 9	文京	(株)美巧社	5

《検討の経緯》

議場に質問・意見を諮ったところ、下記意見があった。その他発言はなく満場一致で承認した。

●岡本泰会長：新入会員について、会社名だけではなく、業務内容等会社概要を教えて欲しい。
●田中専務：次回理事会より、新入会員承認時に会社概要を記載することとする。

第六号議案 その他に関する件

1. 予算執行状況

田中専務より、予算執行状況について別紙資料とともに下記説明・報告があった。

●全国協議会費用を大幅に削減することができた一方、年賀状デザインコンテスト委員会の予算オーバー、ジャグラショートカットの収益伸び悩み等の懸念点がある。
●地協活動支援金について、北海道地協、中国地協、九州地協が未申請となっている。

《予算執行状況に関する主な意見・質問》

【地協活動支援金について】

●黒沢康憲理事：地協活動支援金について、各地協がどのような内容で申請しているか情報共有してもらうことは可能か。
●松下忠理事：地協活動支援金の申請書は公開してもまったく問題ない。
●神山明彦副会長：申請書だけでなく、報告書も一緒に共有してはどうか。
●岡本泰会長：地協で勉強会を開催する際、ジャグラ経由で賛助会員、ジャグラショートカット講師、会員企業から適任講師を手配できるため、ぜひ相談して欲しい。

【地協活動支援金についての結果】

●今年度の地協活動支援金申請書・報告書一式を地協会長宛に

メールで共有する。

2. 業界功労者表彰規程に関する件

田中専務より、業界功労者表彰規程について別紙資料とともに下記説明と規程見直しの提案があった。

●2 項の職歴について、本部役職だけでなく、支部事務担当者・会計担当者等も推薦できるよう、下記を追加したい。
(5) 地協・支部において何らかの職に通算して 5 期 (10 年) 以上就き、地協会長が特別に推薦する者

《業界功労者表彰規程に関する主な意見・質問》

●黒沢康憲理事：推薦する際、過去の役職歴を遡って該当者を探すのに苦労している。本部の方から役職歴リストなどをもらうことは可能か。
●田中専務：支部長、地協会長等の本部役職は把握しているが、支部事務担当者や会計担当者までは把握していないため、本部からリストは提供できない。過去の支部総会資料等を選んで確認していただくほかないのではないか。

《業界功労者表彰規程についての結論》

業界功労者表彰規程変更案について諮ったところ、その他発言はなく満場一致で承認したため、案の通り規程を変更する。

3. 会員名簿に関する件

会員名簿について、2024 年 11 月 8 日に開催した第 5 回理事会で意見をいただいたが、今回理事会でも引き続き意見を伺いたい。

《主な意見・質問》

●岡本泰会長：経費削減の面からも、紙の会員名簿は将来的に廃止し Web 版・デジタル版に切り替えていく方向で進めていきたい。すぐに廃止することは難しいが、広報委員会を中心に別のかたちでの名簿発行手段を検討してもらいたい。まずは会員に会員名簿に関するアンケート調査を実施してはどうか。
●渡辺辰美理事 (書面にて)：会員名簿は継続を希望する。理由は下記の通り。
▶ 自ら紙メディアを廃してはいけない。規約など重要事項も記載されている。
▶ WEB を強化し共存を続ける (ホームページに URL を持たない会員が掲載されていない、つまり名簿機能がない)。
▶ スポンサー広告に見合うまたは利益が出るくらいのページに押える。送料も含めて月刊誌と一緒に送ればよい。
▶ 支部一括送付は結局支部会費で賄うことになるので意味がない。
●本村豪経理事：Web を活用した会員名簿にするのであれば、連絡先だけでなく、自社の業務・得意分野等も PR できる仕組みにするといいのではないか。SPACE-21 で類似した仕組みを試作したことがある。
●松下忠理事：会員にアンケートを実施することだが、アンケート結果に関わらずデジタル版へ切り替えていくことが決定しているなら、アンケートをとらずにデジタルへの移行を進めていった方が効率的ではないか。

●伊東邦彦理事：参考例として日弁連の Web サイトを挙げるが、弁護士検索では必要な情報が正確に手に入るのだから便利。紙の名簿だと事務所移転等の最新情報が手に入らない。情報の入手のしやすさがデジタルの強みと考える。

●松原巧理事：自分自身は名簿のデジタル化に賛成だが、名簿を Web 上に掲載することになった場合、特に地方からは掲載を拒否する会社も出ることが懸念される。

●岡本泰会長：会員名簿をデジタル化・Web 化する際は、会員のみが閲覧できるようにすることを想定している。

●笹岡誠理事：紙の名簿は郵送コストが上がっているため、廃止の方向に賛成する。

●黒沢康憲理事：名簿のデジタル化は時代的に自然な流れと考える。

《会員名簿についての結論》

●事務局がアンケートの素案を作成し、会員を対象にアンケートを実施し、結果を理事会で報告する。広報委員会にて今後の会員名簿のデジタル化について案をまとめ、今後の理事会で検討していく。

4. ジャグラ作品展募集の件

戸来一裕理事より 2024 年 12 月 1 日よりジャグラ作品展募集が開始された旨案内があり、前回は上回る応募作品を集めるべく、告知協力して欲しいとの呼びかけがあった。

《主な意見・質問》

●岡本泰会長：理事の方は自身が所属する支部の支部長に連絡し、各県支部の作品展応募状況を確認して欲しい。また、締め切りまでに必ず 1 社 1 点以上の作品を集められるよう動いて欲しい。
●笹井靖夫理事：前年は各県支部の作品展応募状況を定期的に通知してもらい、それをもとに催促していたので、今年についても通知をお願いしたい。
●武川優理事：1 次審査の負担を和らげるため、審査員を増やした方がいいのではないか。
●戸来一裕理事：審査人数の変更は考えていないが、審査負担を減らすため、審査基準の明確化を進めている。

5. page 出展の件

岡本泰会長より、2025 年 2 月 19 日～21 日の 3 日間、池袋サンシャインシティにて開催される page2025 にジャグラが出展する旨告知があり、今回は印刷革新会とのコラボレーションのほか、会員拡大にも力を入れるとの説明があった。

《主な意見・質問》

●齋藤秀勝理事：ブースで各委員会の PR も行いたいと考えているため、協力して欲しい。
●松下忠理事：全国協議会で会員拡大用の名刺サイズパンフを配布したが、使用してみて反応があったら教えて欲しい。

6. ジャグラ 70 周年誌記念誌の件

田中専務より、ジャグラ 70 周年誌記念誌の編集委員会が発足され、8 月下旬発行予定で進めている旨説明があり、協賛広告を募集しているため、申し込んで欲しい旨呼びかけがあった。以上で全ての議案の審議を終了した。

SPACE-21広報部 SPACE-21全国交流キャラバン in KAGOSHIMA

SPACE-21 幹事 池水孝弘
(有ナポリ印刷)



2月8日(土)、『SPACE-21 全国交流キャラバン in KAGOSHIMA』が開催され、各地より45名の参加者が鹿児島に集いました。

今回は、『プリントネット株式会社』の本社・九州工場の見学及び代表取締役会長 小田原 洋一 氏の講演、そして懇親会という内容でした。

会社見学を今後の経営に生かすという主旨では、同じ様な規模・目線の企業が望まれる交流キャラバンですが、家族経営から現在の規模まで押し上げた成功事例として、そして今後の企業経営を有利にできる『ツール』のひとつとして、開催を提案させていただきました。

見学のための貸切バスに乗り込み、鹿児島中央駅を出発し鹿児島空港を経由、始良市加治木町にある九州工場へと向かいました。当日の寒波による交通網の乱れはあったものの大きな遅延なく無事全員が合流できました。

工場へと到着し、まずは会議室にて工場の詳細動画を視聴し、福利厚生、勤務体制(交代制等)、新工場展望、ファブレス化について等の説明を受け、その後3グループに分かれてDPP(Digital Pre-Press)係、印刷係、製本係の3工程の見学となりました。

見学では、8色印刷機『KOMORI LITHRONE GLX840』等の最新機器の稼働状況や詳細等を確認でき、更には現場スタッフの生の声も聴くことができました。

九州工場見学を終え、一路鹿児島市城南町の本社へバスで移動。3階にある会議室で小田原社長にプリントネット創業から現在までの経緯を中心にご講演いただきました。

父である初代社長から引き継いだ有限会社小田原印刷の当初の様子から上場するまでのこと、印刷通販を



移動バス車内

始める切っ掛けとなった楽天でのネット事業、その後独自にプリントネットを立ち上げたこと、東京工場増設時の状況から現在に至るまで、更には、新工場建設計画や他事業への進出等、今後の展望についても聞くことができました。

講演後は、製造本部長 高橋 直樹 氏による社外未発表設備の紹介、特販部部长 川野 正一 氏によるプリントネットを利用してファブレス化を行い生産性、売上、利益等が向上した印刷会社の事例を实名で紹介していただきました。

講演後、小澤代表幹事によるお礼の言葉と品の贈呈があり、本社見学へ。3グループに分かれて本社1階カスタマーセンター、2階データチェック、5階リフレッシュルームをそれぞれ見学していただきました。

本社での全行程終了後、『八幡』へ移動、19時より懇親会が始まりました。

まず初めに小澤代表幹事の挨拶があり、続いてジャグロ岡本会長より来賓のお言葉を頂戴しました。そして田治副代表幹事による乾杯の発声で懇親がスタートしました。

黒豚しゃぶしゃぶに舌鼓を打ちつつ杯を傾け、多くを語り合う参加者達。そこには、数多の困難に立ち向かう熱きジャグリスト達の姿、その傍らで、岡本会長が鹿児島県支部の面々と交流し親睦と絆を深めつつも、そんな彼等を微笑ましそうに眺めているのでした。

途中、樋貝理事より差し入れされた恒例の山梨のワインが皆様に振る舞われ、更なる交歓と議論が進んでいました。宴もたけなわになった頃、松谷副代表幹事よりジャグロ文化典東京大会、稲本副代表幹事よりSPACE-21全国協議会茨城大会のPRがあり、最後に東海林副代表幹事による中締めで懇親会が終了しました。



工場会議室での説明



工場見学 A Group

工場見学 B Group

工場見学 C Group

本社での講演会



小澤代表と小田原会長



本社見学



小澤代表挨拶



岡本会長挨拶



田治副代表乾杯



ジャグロ文化典東京大会 PR



全国協議会茨城大会PR



以下は、参加された皆様の感想になります。

印刷通販は工場にたくさんのスタッフがいる印象であったが、属人化させない仕組みがこちらでもあった。自社においても機械を頼り、人にしか出来ないところに人員を配置することの重要性を再認識した。大型ディスプレイ等を用い見える化することで工程時の抜け漏れを回避できる考え方は弊社でも取り組んでいて、大量注文が来た際の取扱いについて大いに収穫があった。クリアファイルの色分けで仕上げの有無を区別するアイデアは真似できるところは真似していきたい。

プリントネットさんのオンデマンドの受注数には脱帽したが世の中には印刷物が今も大量にあることがわかったので、いかに仕事を現状よりも集めるか(価格だけではなく)を考える必要がある。当たり前かもしれないが、会社の認知を上げることが受注数を増やすきっかけになるのではないかと、小さい会社ほど広報にも力を入れなければならないという危機感が芽生えた。やはり使う側に印象を残しつつ使いやすい、頼みとなるホームページを構築する必要があるようだ。畑違いと考えていたが、ヒント満載で大変勉強させていただいたので、これから自社で実践していきたい。

今回、会社見学して感じた率直な感想は“危機感”だ。広い場所で印刷から仕上げ・発送まで行い、大小問わず捌ける最新鋭の設備、確立した工程管理、更なる人材を確保するための福利厚生、それらを運用できる優秀な人材により低価格・短納期を実現している。

高知県では横の繋がりが強く、自社でできない部分を他社にお願いする頻度は、他県に比べて多いと思う。弊社も、オフセットの4色機を設備していないので県内の親しい会社をお願いしている。ネット印刷が安いことは承知の上で、あえて地元で依頼することで県内の印刷業界が極力潤うようにしてきた。

その中で今回感じた“危機感”は、やはりネット通販の業界が伸びていることだ。これは「インターネットでの印刷発注」が一般的になってきている証拠であり、目を背けることのできない事実だと感じた。時代に適応するべく“変化”していく必要を強く感じた全国キャラバンだった。

今回のキャラバンで一番興味深かったのはプリントネット様の工場見学。圧倒的な仕事量とそれをこなす仕組みと設備、そして今後の展開と、同じ印刷業界にありながら全く別の業種のように感じ、印刷市場が縮小していることさえ忘れてしまうほどだ。今後、自社の進むべき方向性を考えるうえで大変貴重な体験となった。

ネット印刷という我々にとっては敵にも味方にもなるツールを、現場を見ることにより、より身近にそして違う視点で考えることができる良い機会をいただいた。

今回大変勉強になる企業視察だった。プリントネット様の取り組みを知ることで、依頼できる内容が具体的に想像できた。また、同業の中で成長されている企業様なので、印刷業界の可能性も着眼点次第と感ずることが出来た。

プリントネット様には弊社も長年お世話になっているが、今回の工場見学で、発注案件がどのような工程で処理されているのかを直接見られたことは、不安要素であったところの解決に繋がった。

ネット印刷業界で生き残って行かなければならない中で、単に価格競争とせず顧客に対してフォローアップすることで顧客獲得を成功させている事は以前から感じてはいたが、一日平均120件の問合せ対応や一日2,000件の受注データチェックを24時間交代制とする等の社内体制を拝見し、その信頼性の高さを確信した。

今回の全国交流キャラバンを通して感じたことは、参加された皆様を始めとした多くの業界関係者達が、少しでも先に進みたいと渴望し、様々な手掛かりや気付きを欲している、そうしたエネルギーが今の業界を支えているのではないかとことです。

参加された皆様が何らかのヒントや答えを得ることができ、今後の業務や会社経営の一助となりましたら幸いです。この度は、開催する機会を与えてくださった関係者の皆様、ならびに参加していただいた多くのジャグリスト達に心より感謝申し上げます。



参加者の皆様

業界の動き

ジャグラ

恒例の新年会 開催 秋田県支部

令和7年ジャグラ秋田県支部の新年会が1月29日水曜日、濱乃家（はまのや）で秋田県内の機材資材関連業者様も含めて約30名で開催されました。

濱乃家は大正7年に建てられた数寄屋造りの高級料亭で、秋田市川反（かわばた）のど真ん中にあり、ここ数年はジャグラ秋田県支部の総会や新年会はここ濱乃家で開催することも多く、参加して下さる秋田県内の機材資材関連業者様からも、好評を博しております。

松原巧支部長から、昨年は大変悲しいお正月だったが、今年は静かに新年が明けた。私が見たいのは、全世界平和になってほしい、それだけである、とご挨拶がありました。



挨拶する松原秋田県支部長

秋田県の景況も決して良いわけではなく、今後知恵を絞って生き抜く手段を考えなければなりません。

今年はジャグラ東北地協の総会も秋田県支部が担当で、5月に秋田市で開催されます。



秋田県支部の新年会

ゴルフ大会も盛大に開催するとのことです。これからの準備が大変ですが、楽しみにしています。

（熊谷正司相談役）

ジャグラ

光文堂新春機材展に出展 愛知県支部・愛青会

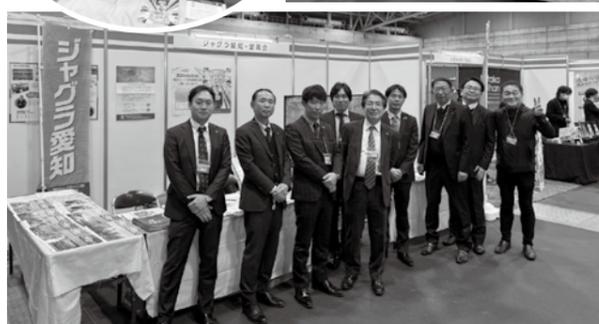
ジャグラ愛知県支部と愛青会は去る1月22日、23日に名古屋市国際展示場で行われた光文堂新春機材展 PrintDoors 2025 に合同例会としてブースを出展しました。

テーマは「会員増強」で過去に実施したセミナーや行事の様子を大型モニターで上映し、活動内容や理念をわかりやすく紹介しました。また、印刷会社としての強みを活かし、展示されたすべての印刷物を会員企業で制作し、ジャグラ愛知のHPへ誘導するQRコード付きの名刺を作成しました。

会期中の2日間で100社以上の方々当会のブースへお立

ち寄りいただき、各会員がジャグラ愛知・愛青会の魅力を発信しました。その結果、ジャグラ愛知2社・愛青会2社の入会見込みを得ることができました。

その一方で、他ブースと比べて視覚的なアピールが弱いという課題も見つかりました。目を引くのが大きめのポスターを展示するなどの工夫や来場者にお渡しするオリジナルグッズの準備等の必要性を感じました。次回の出展が実現する際には、ジャグラ本部の協力も仰ぎ、より多くのPR商材を展示してさらにアピールしていきたいと考えています。



業界

GP認定がグリーン購入法の基準値要件に明記 日印産連

この度、環境省の定める「国等による環境物品等の調達に関する法律」（グリーン購入法）に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」（以下「基本方針」という）が見直され、より高い環境性能を示す「基準値1※」の要件にグリーンプリンティング認定制度が明記されました。

※「基準値1」：判断の基準において2段階の判断の基準を設定している場合に、当該品目におけるより高い環境性能の基準であり、調達に際しての支障や供給上の制約等がない限り調達を推進していく基準として示すもの。

詳しくは、

『環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和7年1月28日変更閣議決定）』のP220 22-2 印刷をご確認ください。

2025年はジャグラ創立70周年



今年も応募してね！ ジャグラ作品展 募集しています

デジタルコンテンツも大歓迎！

出版部門

宣伝部門

業務用印刷部門

開発・開拓部門

♡ 応募期間 ♡

2024年12月1日 [Sun] ~ 2025年3月31日 [Mon]

[作品は2024年に作られたものに限りませう]

昨年は600点以上の応募をいただきました。
今年もぜひチャレンジしてください！

大臣賞受賞4作品に
賞金3万円が
授与されます

開催要項

審査対象

作品は2024年中に完成したものに限りませう
(2024年1月1日~12月31日までの作品)

審査方法

全三回の審査会にて審査基準に基づき採点し、
順位を決定

応募方法

- ・応募作品に申込書を添えて、本部までご送付ください
- ・申込書はジャグラHPよりダウンロードできます
- ・原則、作品の返却は行っていません



↑過去の受賞作品はこちら

優秀作品には大臣賞を授与

作品展で自社アピール！

狙え！！



「ジャグラ作品展」とは
グラフィックサービス業の技術力向上や
マーケットへのアピールを目的とするもので
ジャグラの前身である日本軽印刷工業会が
社団法人を設立した1966年より
開催されている歴史あるコンクールです。

表彰式は文化典東京大会で！
未来へチャレンジ！

会社名		担当者	
住所		支部	
E-mail		電話 / FAX	

発注者に出品の了解を得て、または受賞後了承を得る予定の作品を申し込みます。AI が作成した作品ではありません。チェックをお願いします

事務局キリトリ線

作品名
(記入必須)

No. 事務局記入欄

希望する部門にチェックしてください (希望にそえない場合もあります)

- 出版部門** いわゆる出版物と言われる物
単行本、文芸書、教科書、学術参考書、専門書、法規集、写真集、雑誌、ハンドブック、自費出版、定期行物、復刻版など
- 宣伝部門** 宣伝的要素の強い印刷物で、主としてカラー印刷物や凝った印刷物、デジタルコンテンツ
カタログ、ポスター、ダイレクトメール、リーフレット、チラシ、POP、パンフレット、カレンダー、PR 誌、各種案内書、HP など
- 業務用印刷物部門** 本業界が主流としてきた印刷物。また、商業印刷物のうち、モノクロ印刷物も含む
研究報告書、文集、記念誌、機関誌、便覧、手引書、名簿、会議資料、大会等資料、会報、年報、リスト、パーソナルユース (年賀状、レターヘッド、ハガキ、名刺) など
- 開発・開拓部門** 拡印刷を目指す技術・開発・手法、営業要素が強い作品・サービスなど
新商品、新機器・新手法・新技法による作品、販促成功例、活路開拓・需要拡大商品、未来ビジネスへの足掛かり商品、自社企画による印刷物、印刷物以外の商品、間接的に生産された印刷物、デジタルコンテンツ、LINE スタンプ、ソフト・サービス CD-ROM 等のマルチメディア

特に評価して欲しい項目にチェックしてください (複数選択可能)

- 企画・編集への参画**
製作物の企画構成・取材・執筆・編集・校正などへの参画
- 設計・提案**
表紙・本文のデザイン・書体・用紙・加工、素材等の提案
- 文字組版**
難易度が高い・禁則ルール等
- 完成度**
印刷や造本、製作物の仕上がり
- 後加工・付加価値**
特殊加工・特殊印刷等
- 開発・開拓**
新商品開発・新規開発手法・開拓の視点・狙い等
- 顧客開拓、創注**
企画提案から顧客開拓、創注に結びついた
- 課題解決**
お客様の課題解決に結びついた
- マーケティング・効果測定**
マーケティング・効果測定・デジタル技術の活用
- 社会性**
CSR・SDGs・持続可能な社会貢献等
- その他 ()**

■ アピールポイント (自由にご記入下さい) 【任意】

印刷会社事例に学ぶ マーケティングオートメーション MA活用と印刷業の未来

2024年11月14日(木)、株式会社クイックス本社ならびにクイックスデリポート、COMセンターにおいて、業態進化委員会主催の見学会を開催いたしました。

当日は、クイックス社の長谷川様、浅井様、山下様より、同社の沿革、経営理念、事業内容、今後の展望、そしてMA(マーケティングオートメーション)の具体的な活用事例についてご説明いただきました。

参加者は、クイックスデリポートにおける最新鋭の物流システム、本社における効率的な印刷設備、COMセンターにおけるデジタル技術を活用した制作工程を見学しました。

特に、MAを活用した顧客とのコミュニケーション戦略や、デジタル印刷とオフセット印刷を融合させたハイブリッドワークフローは、参加者の関心を集めました。

見学会の最後には、質疑応答の時間が設けられ、参加者から活発な質問が寄せられました。クイックス社の皆様は、印刷業界の現状や将来展望、デジタル技術の活用方法、顧客ニーズへの対応など、幅広いテーマについて、丁寧かつ熱心にお答えいただきました。

クイックス社の事業領域は、商業印刷、デジタル印刷、オンデマンド印刷、クロスメディア、WEB制作、マーケティング支援、物流など、多岐にわたります。

印刷業でありながら、顧客の課題解決を包括的に支援す

ることを考え、多岐にわたるサービスを提供している企業へと進化を遂げられていることを実感いたしました。

今回の見学会は、業態進化委員会の参加者にとって、印刷会社の新たな可能性を発見し、自社の事業展開を考える上で、大変貴重な機会となりました。クイックス社の皆様には、お忙しい中見学会にご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

業態進化委員会では、今回の見学会で学んだMAの概要や具体的な活用事例をもとに、JaGra会員の皆さまに、まずはMAをご理解いただき業務にご活用いただけるようなセミナーを開催し、会員の皆様の事業発展に貢献してまいります。

(文・(株)大元堂 水谷 元泰)



クイックス見学 & MA セミナー 総括 ジャグラ DX 委員会 業態進化委員会 委員長 中村 盟

業態進化委員会は、「業態進化」を「事業領域の拡張」と捉え、約2年半前の発足以来、本機関誌を通じて、「Canva」や「ドローン」、「検品システム」[PrintDoor]等のDXツールの紹介や、ジャグラ会員企業による、「データドリブンマーケティング(オートメーションではない、お客様のマーケティング支援)」の実践に取り組んでまいりました。

中でもモノづくりからコトづくりへと移行するキーワードとして、印刷との親和性が高いMA(マーケティングオートメーション)について、マーケティングとは何かから学び直してきました。結果、我々が取り組むMAは大きく分けて2つの考え方があることが分かりました。

それは、「自社の製品等を売り込むためのもの」、そして、「お客様の製品の販売を支援するもの」です。どちらにせ

よマーケティング思考が必要であり、ツールの活用も検討していかなければならないという答えに行き着きました。

今回、業態進化委員会では、MA 及び DX ソリューションを活用した最新の物流システムを学ぶことを目的として、我々ジャグラの仲間の中で、「ファーストペンギン」としてMAに取り組み、事業化されている「株式会社クイックス」さんを訪問させていただきました。

「マーケティング」や「物流管理」などは、「印刷業の隣の業界」というイメージが一般的だと思いますが、自社の事業領域を拡張し、見事に体现されている様子を拝見し、委員一同、様々な「気付き」がありました。

また、そこに至るまでの苦労や失敗談など、我々ジャグラの仲間だからこそ、ここまで踏み込んだ貴重なお話を聞かせていただいたのだと思います。

「マーケティングソリューション」は確かにどの会社でも手を出せる領域ではないかもしれませんが。

しかし、「出来る」「出来ない」「今すぐやる気がある」「今すぐやる気はない」に関わらず、「グラフィックサービスの事業領域はここまで拡張している」ことを「知っている」と「知らない」とでは、これからの営業活動や経営判断において、大きな違いがあるように思います。

もちろん我々の基盤である「印刷する」ことは異業種に対する差別化になりますが、お客様は我々に「印刷物を印刷する事」を求めているのではなく、「それによる結果」を求めています。

その答えの1つが「MA」と「印刷物」の融合により、より高い満足度が得られる「進化した業態」なのです。

今回の当委員会委員によるクイックス見学会及びMAセミナーレポートは、我々の仲間が「肌で感じ取った、率直な思いや気付き」がふんだんに盛り込まれています。

そこから読み取れる「グラフィックサービスの未来」を是非皆様の今後に活かしていただければと思います。

どうぞよろしく願いいたします。



岡 達也 副会長
あさひ高速印刷(株)

クイックス会社見学

クイックスさんのビジネスの目的は、コンテンツ制作、印刷、品質保証、複雑なデリバリー遂行というクイックスの複数の能力を組み合わせ、一つの顧客プロセス自体に完全に入り込んでしまうこと。それを実現するためには、製本や印刷の自社製造にはそれほどこだわっていないように感じました。

オフセット印刷はクイックスさんの中では傍流というか、キーププロセスではなさそうに見えてしまう、というのが驚きでした。最も力が入ってそうに見えたプロセスは、出荷検品といった後工程。コンテンツ作成能力を持っている会社が、検品も含めてサプライチェーンに入り込んでくれたら、お客さんにとっては便利すぎるだろうし、競合は競合でなくなる。これだけのことをやりながら、さらにソフトウェアを顧客に提供していき、そこからサブスク課金でも稼ぐという口を作っている。

あと、印刷のやり方についてもさほどオフセット印刷には拘らず、デジタル印刷をフルに活用して少人数で回しているところは、デジタルのメリットをフルに享受でき、需要の繁閑にも柔軟に対応できてそう。

MA 見学

自社製品を開発して、それを販売するためにMAのチームをつくってそれを回している。お話を聞いていると、ここまでも結構苦労されたが、最近はたくさんの引き合いを作れるようになってきたとのこと。この事例から私たち



が学ぶには2つのハードルがあると思います。1つが、自社のプロダクトを持っていない会社にとってマーケティングが存在しない、という問題。2つめは、コンテンツマーケティングを成立させるために5人のチームで回しているという事実。ある程度のコンテンツの量がなければ、MAも成立しない。私たちの規模の会社が、5人は無理でも2-3人でもコンテンツ制作のために、また展示会出展といったリアルイベントにも参加しながら、1年以上の単位で人的リソースを投入できるのかどうか。結構ハードルは高いと思います。

ただ、ハードルが高いといっている私たちが実際に進化するためには、これを何らかの学びと小さな挑戦にしないとけません。まずは、何を売るためにマーケティングをするのか、を探ること。その売るものを定義できる会社／できない会社では成果の出し方も変わってくると思います。あとは、コンテンツマーケティングの勉強会をやるのもひとつだと思います。



田治 宏敬 副委員長
尼崎印刷(株)

またもや完成形を見せつけられたクイックス社のMA

ジャグラBBでも公開中の「QRを使った検品システム」。実はクイックスさんで導入されていたのを拝見し、譲っていただけるようお願いしまして弊社用にアレンジした上で使っているのですよね。何度かお邪魔させていただいたクイックスさん。私も業態進化委員会2期目で、少しはMAに関する知見を得てきたつもりでした。お手並み拝見とうかがったところ……クイックスさんはやるのが完璧すぎる！ 長年にわたるトライ&エラーを繰り返して得られた知見を惜しみなく開示いただきました。同社が実際に実践されて得られたノウハウだけに、話に深みがあり、うわべだけの学習で得られたものではないことはすぐに実感できました。自分自身、MAのことは少し分かったつもりになっていましたが、なんと薄っぺらい知識しか会得していなかったことかと恥じた次第です。

一方で弊社は自分なりに必要なところだけを盗めばよいと思うのです。「検品システム」もクイックスさんがやっている規模感・緻密さに比べればママゴトのようなもの。それでも顧客に喜ばれ業態進化できました。MAも完成形はクイックスさんのような事例かもしれませんが、弊社なりに切り取ってアレンジして顧客へ提案・提供してゆきたいと思っております。



木戸 敏雄 委員
(株)木戸製本所 入船製本工房

クイックス様の工場を見学しての感想

保管や発送業務を組み合わせることで、顧客満足度の向上、業務効率化、そして競争力強化が可能になると感じた。また、長期的な顧客関係の構築や新たな収益機会の創出にも寄与している。このような付加価値を提供することで、印刷業の枠を超えたトータルソリューションプロバイダーとしての地位を確立していた。また、様々な改善や見える化を行うというマネージメントも素晴らしいと感じた。

印刷会社がMAを提案するにあたって

印刷会社がMAをお客様に提案することは、効率的なリードジェネレーションや顧客エンゲージメントを実現し、ROIの向上や営業活動の支援など、顧客のビジネスにとって大きな利益をもたらす。また、データに基づいた意思決定や長期的な顧客関係の構築を通じて、競争優位性を強化することができる。MAを導入することで、印刷業の顧客はより効果的かつ効率的に市場での地位を向上させることができる。

しかし、印刷会社がMAを提案するには、戦略的な思考を持つマーケティング専門家、デジタルチャネルの運用スキルを持つデジタルマーケティング担当者、データ分析ができるアナリスト、技術的な運用をサポートするMAツールの管理者、クリエイティブなコンテンツ制作ができるコンテンツクリエイター、そして営業活動を担当する営業担当者など、さまざまな役割を持った人材が必要だ。これらの人材が協力し、顧客に最適なMA戦略を提案し、実行することで、印刷会社は効果的に新規顧客を獲得し、顧客との関係を深めることができる。ある程度の人材がそろっていることが必要だと思った。



小林 佳之 委員
（株）ケイスイ

クイックス会社見学

今回クイックス様を見学させていただき、随所に見える工夫に感動しました！

予備知識を仕入れていなかったレポートは、従業員たちが経験の中から考えたであろう在庫管理の効率化、ピックアップ後の検証のスムーズさ、梱包材の選択方法。また、作業をスムーズにするための工夫（バーコード）をクライアントに納得させ、デザインに取り入れさせる営業力。とても素晴らしいものでした。

工場を歩きながら会議・交渉・検討風景を勝手に想像しつつ、その場に参加したかったと切に思いました。デジタルによる効率化の前にまだまだ出来ることはあると確信しつつ。

MA 講習

MA があ〜と必要性を感じないまま、この委員会に所属し、理解できないながらも MA について聞きかじってきた。スケールが大きすぎてうちの会社には関係ないとか、うちの顧客に MA に金をかける会社は無さそうだとか逃げ道をたくさん用意して。実践例を間近で見させてもらって、やっと面白そうなことだなと思うことは出来ました。

まずは、HP つくらないと始まらないことがよく分かりました。



大多和 剛 委員
インフォマネージ株

クイックス様の見学会では、現場の作業が知恵の結集であることを改めて実感しました。作業効率を上げるために、社員の方々が日々試行錯誤を重ね、改善を積み重ねてきた努力が現場の隅々に凝縮されていました。最新設備の導入だけでなく、独自の工夫や柔軟な発想が随所に反映されており、プロフェッショナルな仕事への情熱が伝わってきました。業務における改善と工夫の重要性を再認識し、自分の仕事に対する意識を高める良いきっかけとなりました。

MA 講習では、MA の基本から実際の運用事例、業界内のソフトウェア比較、販売業者によるツールの使用説明、さらには MA を用

いて解決可能な課題など、多岐にわたる情報を得ることができました。この知識を通じて、MA の可能性をより具体的にイメージでき、自分の業務にどのように活用できるかを考えるヒントを得ることができました。また、様々なツールの比較を通じて、業務に最適なツールを選ぶ視点も学ぶことができました。

これらの体験を通じて、効率化や課題解決のための具体的な手法について、多くの知見を得ることができました。今後、自社の成長や実務にしっかりと活かしていきたいと考えています。



川上 辰夫 委員
株式会社喜八屋

クイックス会社見学

現場のスタッフさんが日々工夫改善していく社風・文化が出来上がっていると感じました。社員だけでなく、パート・アルバイトさんも積極的に環境改善・業務フロー改善に参加していく姿勢が、利益を生んでいると思います。また、印刷機の同時稼働の様子をみせていただきましたが、オペレーター 1~2 名で 10 台近い機械の進行管理を行っていて、IT による管理の大切さを改めて感じました。

MA 講習

SATORI の活用の選定理由から、MA の実施状況を学ばせていただきました。その中で特に運営面で参考になったのは、コラムの制作を AI を使って効率的に大量生産していることです。多くのコンテンツからサイト流入を図る施策は、一昔前では記事作成にかなりの時間・工数がかかっていました。その作業時間が一気に短縮し、ほぼ毎日記事を配信している様子に、AI をしっかり活用している状況を学ばせていただきました。コンテンツマーケティングは、



工数の費用対効果という弱点を AI で補えるという点は、今後自社でも生かしていきたいと感じました。後は、自社の規模でどの程度まで実施できるか、またクライアントへの提案としてどのように活用できるかを考えることが課題だと思っていました。ただ、コンテンツ作成のスピードが改善されているので、AI を活用できる人材がいれば MA が中小企業にも普及できる時代になったと感じました。



青木 英城 委員
イセン印刷株

クイックス会社見学

今回の見学会では、デジタル技術の活用による効率化だけでなく、アナログ時代から培われた現場の声を活かした業務改善が、デジタルにも反映されている点に深く感銘を受けました。また、業務過多の部署に他部署のスタッフが応援に入り、スムーズに作業を行える体制が整っていることから、業務が属人化せず、マニュアルがしっかりと整備されていることが伝わりました。「現場の声」と「柔軟な連携体制」の重要性を学ぶ、大変貴重な機会となりました。

MA 講習

MA が今後のビジネスにおいて欠かせない存在であることを実感しました。まずはコンテンツ作成が必須であり、その質が重要だと学びました。さらに、効率的にコンテンツを制作・運用するためには AI の活用が鍵であり、いかに上手く AI ツールを取り入れるかが今後の課題だと感じました。講習を通じて、マーケティングの自動化が業務効率化とお客様とのつながりを深めるために必要であることをしっかり理解して、具体的な行動を起こす必要性を強く感じました。



佐藤 元 委員
株式会社イデア

クイックス様レポートの視察につきまして、私は、「5 S・IT・そして創意工夫」「不規則ロット・超多品種」をキーワードとして捉えました。また、ジャグラーを構成する多くの小規模会員企業が、ジャグラスピリッツを昇華した形を、クイックスさんに見ました。社屋も始末され、華美にすることなく、その中に着実に新しいワークフローを導入されていることに、クイックスさんの底流を感じることが出来ました。

また、クイックス様 COM センターの視察につきましては、レポートとは異なり、ジャグラー会員がこれから発展していくため、これまでの技術を活かすために取り組むべき課題を明確にさせていただきました。

ともすれば製造技術面、プロダクトアウトの話が多くなりがちなジャグラー会員の学びとなる、顧客視点、顧客志向、マーケットインといった言葉を体現する MA を駆使した潜在顧客へのアプローチ、見込み顧客の開発の生の現状を開示していただき、取り組みが一筋縄では行かないということ、取り組むことで新規顧客の開発が必ず成し遂げられるという確証を得ることが出来ました。

こうしたことは、なかなか岡本会長から語られることが少ない会社の本質的な部分でしたので、会社の見学はもちろん、アテンドいただいた浅井さん以下幹部社員のみならず、直接学ばせていただく非常に良い機会となりました。



事務局日誌と 今後の予定

最新情報はHPでご確認ください



十河 尚史 委員
アート印刷(株)

3年ほど前から「MAとはどんなものなのだろう？」と気になりはじめていたので、今回クイックスさんの見学会に参加しました。

- 参加してみての私の感想は、
- これからの集客／営業には欠かすことができないツールである。
- とはいえ、資金面でも人材面でも弊社のような小規模な印刷会社での導入は難しい。
- というものです。ですが、この説明会でのクイックスさんのコンテンツ集客の仕組みはかなり参考になりました。
- MAを使って集客／営業力を強化しようとしても、自社サイトのコンテンツ内容が貧弱な状態ではMAの力が発揮できなかった。
- 「MAを活用しない」としても、自社サイトに『お役立ちコンテンツ』を随時アップすることが重要である。それを怠るようでは勝負にならない。

では、小規模な私の会社で、「どのようにして『お役立ちコンテンツ』を提供していくのか？」を考えてみました。今、私にできることは、自社サイト内のブログで『お役立ちコンテンツ』の提供すること。自社サイトのトップに置いている『新着情報コーナー』の内容を見直して、『お役立ち情報コーナー』に差し替えること。まずは小さなこ



とからスタートしていきます。



熊谷 健司 委員
(株)くまがい印刷

当日はまずクイックスさまの配送センター、デリポートの見学がありました。デリポートでは、効率的な物流システムを視察しました。物流の各工程が緻密に管理されており、無駄のない運営が徹底されている点、また冊子の消費量を予測して在庫を調整されていることが印象的でした。本社では最新の印刷設備を見学しましたが、その高度な技術力には驚かされました。特に短納期の案件にも対応できる柔軟性と効率性の高さ、1名のオペレーターがPOD 8台を操作できるまでに追及された仕組みは非常に参考になるものでした。さらにCOMセンターでは制作工程を直接見学し現場での作業フローがどのように進んでいるのかを詳しく理解することができました。

また、MAを活用した顧客対応の自動化施策には目を見張るものがありました。特定のタイミングで顧客に的確なアプローチを行う仕組みは、私たちの業務にも直結する重要なヒントを与えてくれました。この取り組みに対して、見学会の参加者からは多くの質問が寄せられ、クイックス社の担当者の方々は丁寧かつ具体的に回答してくださいました。

今回の見学を通じて、マーケティング、印刷受注、物流に至るまでを一貫して提供するワンストップサービスの仕組みには非常に強い衝撃を受けました。その効率性と顧客満足度の向上を両立させる取り組みは、自身にとっても大きな刺激となりました。MAを含めた新たな施策は、今後の業務運営において不可欠であると改めて実感しました。

今回の視察で得た知見やヒントを自社の業務に少しでも取り入れさらなる発展につなげていきたいと考えています。

業態進化委員会主催 MAセミナー開催！

印刷会社×マーケティングオートメーションの可能性
— クイックスの実践事例から学ぶ

- ◆ 講師：山下 二郎 (株式会社クイックス)
- ◆ 開催日：4月24日(木) 午後4:00~5:00
- ◆ 開催方法：Webセミナー
- ◆ 参加費：無料

詳細は
メールマガジンで
告知いたします。

2月の事務局日誌

- 3日 広報委員会 (Web 会議) 日印産連 GP 部会→田中専務
- 4日 P マーク現地審査 (大阪) →今田 委員長会議 (Web 会議) 日印機協交流会→田中専務
- 5日 MIS 研究委員会 (Web 会議)
- 6日 サスティナブル委員会 (Web 会議) 作品展委員会 (Web 会議)
- 7日 P マーク現地審査 (福岡) →田中専務
- 8日 SPACE-21 キャラバン in 鹿児島→岡本会長、田中専務
- 9日 SPACE-21 幹事会→田中専務
- 12日 P マーク現地審査 (福島) →田中専務、今田
- 13日 日印産連環境自主 WG
- 14日 年賀状デザインコンテスト (本部)
- 18日 70 周年誌編纂委員会 (Web 会議) ジャグラコンテスト委員会 (Web 会議)
- 19日 page 2025 →岡本会長、田中専務、今田、古田 P マーク現地審査 (大阪)
- 20日 page 2025 →岡本会長、田中専務、阿部 P マーク現地審査 (大阪)
- 21日 page 2025 →田中専務、岩崎、古田
- 25日 会員拡大特別委員会 (Web 会議) P マーク現地審査 (宮城) →田中専務 ジャグラショートカット運営委員会 (Web 会議)
- 27日 地域活性化委員会 (Web 会議) 広報委員会 (Web 会議) 作品展委員会 (Web 会議)

3月のスケジュール

- 3日 正副会長会議 (Web 会議) 70 周年誌編纂委員会 (Web 会議)
- 4日 MIS 研究委員会 (Web 会議) 業態進化委員会 (Web 会議)
- 5日 P マーク審査会 (本部) →田中専務、今田、長野、古田
- 6日 生産性向上委員会 (Web 会議) 年賀状デザインコンテスト委員会 (Web 会議)
- 10日 P マーク現地審査 (京都) →田中専務、今田
- 11日 P マーク現地審査 (京都) →田中専務、今田
- 12日 日印産連ステコミ (Web 会議) →岡本会長、田中専務
- 13日 JP2025・印刷 DX 展→岡本会長、田中専務 P マーク現地審査 (秋田) →今田
- 14日 JP2025・印刷 DX 展→岡本会長、田中専務
- 18日 サスティナブル委員会 (Web 会議) 作品展委員会 (Web 会議)
- 19日 ジャグラコンテスト委員会
- 21日 理事会 (本部) 地域活性化委員会 (Web 会議)
- 25日 P マーク現地審査 (愛媛) →田中専務

4月のスケジュール

- 1日 広報委員会 (Web 会議)
- 3日 P マーク現地審査 (熊本) →田中専務
- 4日 会員拡大特別委員会 (Web 会議)
- 8日 作品展第一次・第二次審査会 (本部)
- 9日 作品展第一次・第二次審査会 (本部)
- 10日 P マーク現地審査 (新潟) →今田
- 11日 P マーク現地審査 (新潟) →今田
- 14日 P マーク現地審査 (埼玉) →今田
- 18日 近畿地協総会 (和歌山) →岡本会長、田中専務
- 19日 SPACE-21 総会 (東京) →岡本会長、田中専務
- 23日 作品展最終審査会 (本部)
- 24日 業態進化委員会 MA セミナー (Web 会議)

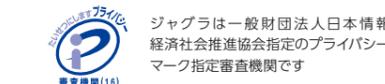
事・務・局・便・り

そろそろ花粉症シーズンがやってきます。2月末から本格化し、3月上旬にはピークを迎えるそうです。花粉症持ちの私にとっては、つらい季節の到来……。もし鼻声になっていたらご容赦ください。先日、買い物中に「花粉症にいい」というブレンドハーブティーを見つけて購入しました。ネットやレモングラスが主で、アレルギー症状に効果が期待できるハーブが入っているそうです。どれほど効くかはわかりませんが、ほんの少しでも楽になれば嬉しいものです。しかも、ほんのり甘くておいしい！ 効き目はさておき、しばらく楽しんでみようと思います。(古田)

※「事務局便り」は本部事務局員が交替で執筆しています

月刊『グラフィックサービス』880号

■発行日 令和7年3月10日 (毎月1回)
■発行人 岡本 泰
■編集人 本村 豪経
■発行所 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会 略称ジャグラ
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16
電話 03-3667-2271 ファクス 03-3661-9006
ウェブ <https://www.jagra.or.jp/>



■編集部宛メール edit@jagra.or.jp

◎企画：ジャグラ広報委員会

担当理事 神山 明彦 愛知・(株)カミヤマ / 副会長

委員長 本村 豪経 福岡・アイメディア(株) / 理事

委員 東海林正豊 秋田 / (株)東海林印刷
谷山 和也 東京 / 菁文堂(株)
野口 聡 東京 / (株)アクティブ
小澤孝一郎 山梨 / (株)オズプリンティング
安達 睦男 大分 / (有)舞鶴孔版
蛇嵜 悠太 広島 / (株)ideal
三宮 健司 高知 / (有)三宮印刷
佐藤 愛子 大分 / (株)クリエイツ
西谷 毅 東京・文京 / 西谷印刷(株)
松谷 勝広 東京・文京 / (株)松谷メールサービス
笹井 靖夫 東京・文京 / 共立速記印刷(株)
田中 良平 専務理事

◎原稿・編集・校正 田中 良平 阿部奈津子 今田 豪
長野未奈美 岩崎 琴美 古田 理子
以上、ジャグラ事務局

◎渉外 田中 良平
◎広告 田中 良平
◎Web 阿部奈津子 古田 理子
◎動画 今田 豪

◎組版 (株)クリエイツ
DTP = Adobe CC ほか
フォント = モリサワ OTF / モリサワ BIZ+ ほか

UD FONT by MORISAWA ※本誌の一部にユニバーサルデザインフォントを使用しています

◎製版 / 印刷 (有)西村謄写堂 (高知・高知支部)
RIP = FUJIFILM WORKFLOW xmf
CTP = Luxel T-6300 (自現:富士フィルム XP-1310R)
刷版 = FUJIFILM SURERIA XP-F
印刷機 = RYOBI 924D
インキ = 東洋インキ
用紙 = 三菱ニューVマットA判 57.5kg

Copyright 2025 JaGra
禁無断引用
※本誌記載の製品名は一般に各メーカーの登録商標です
原則、TMや®マークは省略しています
※乱丁 / 落丁本はお取り替えいたしません

【雑学コラムお題の答え】 伊勢志摩 (いせしま)

RMGT-CSPI

ともに創る印刷の未来



RMGT-CSPIが
SDGs達成をアシスト



印刷会社のSDGs達成のためのソリューションを提案、具現化するRMGT-CSPI。
各分野の企業が連携し、お客さまに寄り添いながら課題を解決・サポートします。

